

# 全斗煥政権による李錫圭君虐殺弾劾!

## 南朝鮮労働者の決起に 日帝・中曽根打倒へ!

日刊  
**動労千葉**



87. 8. 31  
No. 2642

千葉市要町二一八 (動力車会館)  
(鉄電) 二九三五・六 (公衆) 〇四七二(22) 七二〇七

今日、南朝鮮・韓国の労働運動は、民主労組の認定や賃金の引きあげなどをめぐって全国に争議が広がり、六月二十九日、全斗煥(チョンドゥホアン)政権が、盧泰愚(ノテウ)声明という形で「民主化宣言」をペテン的に行つて以降も実に二千件を越す争議が発生し、スト・デモ・箆城が連日敵戒体制をうち破り闘いつられてきている。日本の労働者人民は、こうした韓国労働者の闘いに応え、再びアジア侵略を狙う日帝・中曽根を断固として打倒しなければならない。

### 一企業一組合粉碎の

### 闘いが大爆発

南朝鮮・韓国の労働者の闘いは、連日数万人のデモやストライキなどによつて全斗煥政権打倒へ大きく前進している。製造業を中心にスタートした争議は、造船・工業・運輸・マスコミ・サービス業にも波及し、この影響で昨年五月以来黒字を続けてきた貿易収支が八月にはついに五億ドルの赤字に転らくことが見込まれるなど、全斗煥独裁政権の経済基盤をその根幹で揺り動かす大闘争に発展している。

「六月二十九日の『民主化宣言』がどれほど虚偽でごまかしであるかはつきり見せてくれた」として、全斗煥政権実力打倒への大きな怒りの渦となっている。ここにわれわれは、全斗煥政権による労働者の虐殺を徹底的に弾劾するものである。

### 歴史的 大罪を自己批判し

### 日帝・中曽根政権打倒

さらに、われわれ日本労働者人民は、南朝鮮労働者の決起が、日本帝国主義に対する怒りであることを忘れてはならない。現在も多くの日本企業が韓国に工場を持ち、低賃金、強労働を労働者に強いている。これに対する怒りとして今南朝鮮全土で闘いがまきおこっているのである。そして、日本の労働者人民は、自ら武器をとり二千万アジア人民を虐殺したという歴史的 大罪を自己批判し、南朝鮮労働者とともに、全斗煥政権打倒、日帝・中曽根政権打倒へ国鉄―三里塚―沖繩を基軸に起ちあがらなければならない。

### 虐殺を徹底的に弾劾する

闘いが大爆発しているのである。

こうして、南朝鮮労働運動が拡大するなか、八月二二日、大宇造船の休業に抗議してデモを繰り広げる三千人の労働者に対して、機動隊が催涙弾を発射し、この催涙弾の直撃を受けた大宇造船労働者、李錫圭君(21)が虐殺されるという事件が発生した。この虐殺により南朝鮮では、



李錫圭君虐殺に抗議し、集会を開いた大宇造船の労働者たち。

南朝鮮労働者の決起につづけ!